

重点課題

【課題1】 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約できる。
 (設問 2四) 読むこと (平均正答率46.7%)
 条件の一部のみを書いて、当てはまるすべての条件を合わせて書いていない児童 (53.3%)

【課題2】 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。
 (設問 3一) 書くこと (平均正答率60.0%)
 文章の構成は双括型であることは理解しているが、その構成で書いた意図は捉えていない児童 (33.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

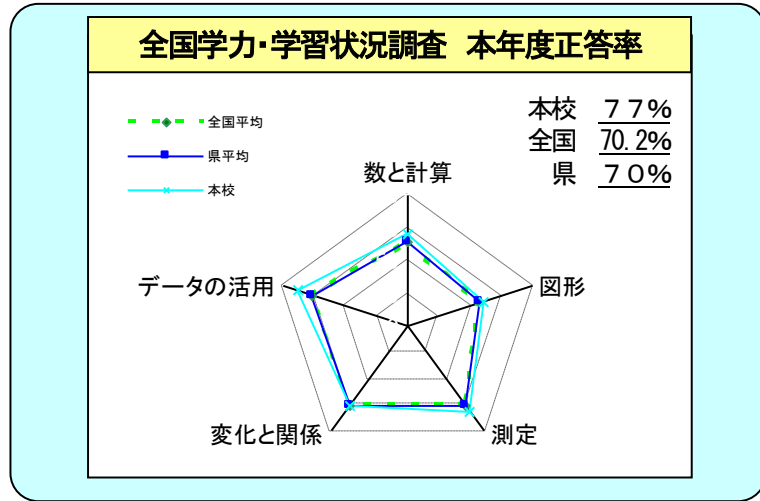
【課題1】・ 説明文や物語を要約したり要旨を捉えたりするときに、中心となる語や文を見つけて、適切な主語を入れながら文章を書く指導をする。

【課題2】・ 説明文での文章構成、筆者の主張や物語のあらすじなどを捉えたりまとめたりする学習を設定する。
 ※ 小中一貫した取組については、文章を読み取るときに、中心となる語や文を見付けさせて情報を整理し、文章全体の内容を捉えさせるとともに、条件に当てはまるように要約したり、自分の考えを記述したりする学習活動を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生 2学期末テスト	5・6年生 標準学力調査	5年R3「全国学力」 6年R3「全国学力」類似問題	4・5年生 学年末テスト
目標値				70%	70%	65%	70%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生 2学期末テスト	5・6年生 標準学力調査	5年R3「全国学力」 6年R3「全国学力」類似問題	4・5年生 学年末テスト
目標値				70%	70%	65%	70%
実施後数値							

来年度に向けて



重点課題

【課題1】 図形を構成する要素などに着目し，図形の構成の仕方を捉えて，面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。
 (設問 2 (3)) 図形 (平均正答率53.3%)
 平行四辺形の高さを底辺ととなり合う辺だと捉え，正しく理解できていない児童 (26.7%)

【課題2】 商が1より小さくなる等分除の場面で，場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し，計算することができる。
 (設問 4 (2)) 数と計算 (平均正答率60.0%)
 整数÷整数の除法では，場面から正しく数量の関係を捉えられず被除数の方が除数より大きくなると考えて計算をしている児童 (40.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】・ 図と式を線でつないだり書き込ませたりして対応させ，問題文や図，式を関連させて学習していく。

【課題2】・ 問題文や場면을正しく捉えるための図として，絵や数直線図，関係図などをかく学習を増やし，問題を整理する力をつけていくとともに，数学的活動を取り入れ，図形や量の感覚を養っていく。

※ 小中一貫した取組については，問題場面の数量の関係に着目させ，問題で示されている数量を線分図等を使って示したり，式に表したりしてそれらの意味を捉えさせるとともに，説明する学習活動を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生 2学期末テスト	5・6年生 標準学力調査	5年R3「全国学力」 6年R3「全国学力」類似問題	4・5年生 学年末テスト
目標値				70%	70%	65%	70%
実施後数値							

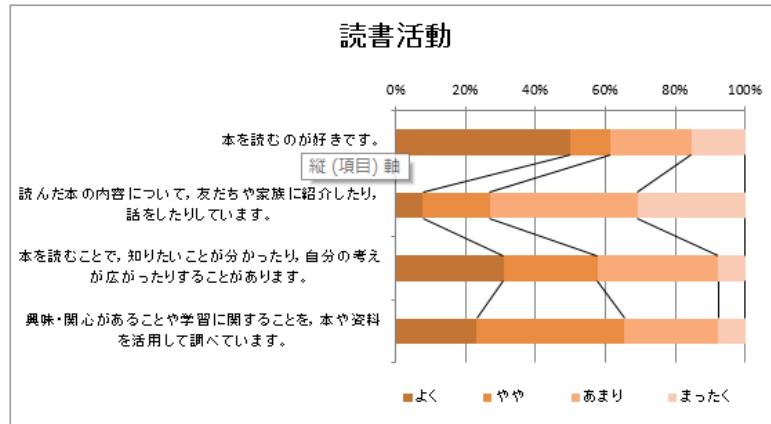
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生 2学期末テスト	5・6年生 標準学力調査	5年R3「全国学力」 6年R3「全国学力」類似問題	4・5年生 学年末テスト
目標値				70%	70%	65%	70%
実施後数値							

来年度に向けて

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査)

(1) 生活・学習

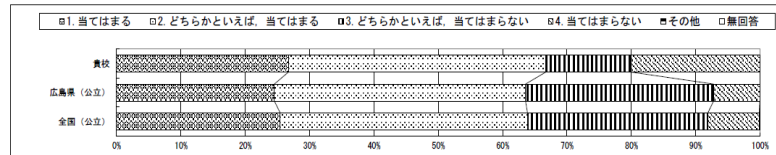
読んだ本の内容について、友だちや家族に紹介したり、話をしたりしている。



	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	読んだ本の内容について、友だちや家族に紹介したり、話をしたりしている。(26.9%)	校内の読書タイムの時間にしっかりと読書に親しませるとともに、朝の会で読んだ本の紹介を行う。また、読書ボランティアの方の読み聞かせのときに、感想を伝え合うようにする。さらに、国語科の読書教材での学習活動の中で、友だちや家族に紹介したり、感想を伝え合ったりする場を設定する。	5年	60%	児童アンケート	2月	

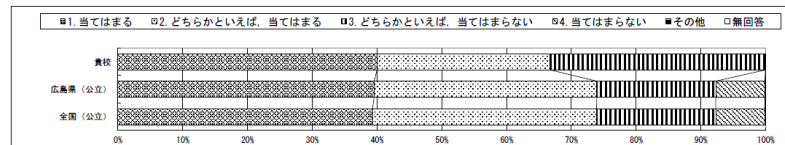
(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。(66.7%)	授業の中で、学習課題や発問に合わせて、自分の意見をノートやワークシートに書いて全体場で発表したり、ペアトークやグループトークを用いてお互いの考えを交流し合ったりする。その際に、疑問に思ったことを質問し合い、対話の内容を深めるようにしていく。	6年	80%	児童アンケート	2月	

算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている。(66.7%)	学習したことを生活場面で生かしたり見付けたりするような学習を家庭学習の中で設定したり、単元の最後に日常生活の内容を取り入れたパフォーマンス課題を設定し、算数科と生活場面を関連付けるようにする。	6年	80%	児童アンケート	2月	